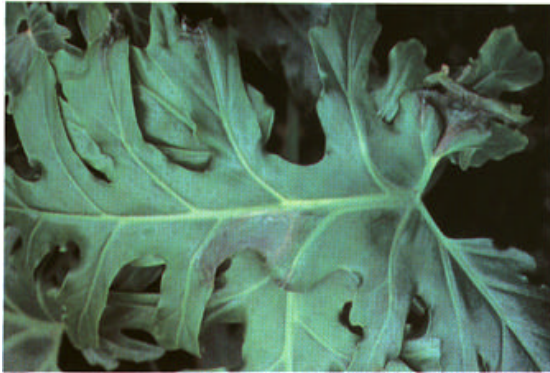
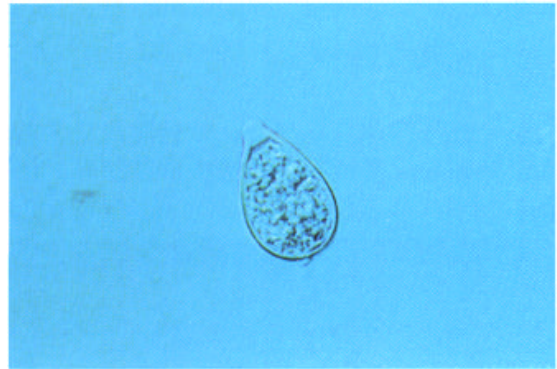


〈フィロデンドロン疫病〉



葉の病徴



病原菌の遊走子のう

〈フィロデンドロン疫病〉

病原菌：Phytophthora nicotianae van Breda de Haan var. parasitica (Daster) Waterhouse

1. 症状

はじめ葉縁や葉先からオリーブ色～褐色、水浸状の病斑を生じ、これが拡大して大型の不正斑となり、葉腐れ状となる。多湿時の病斑部には、病原菌の菌糸と遊走子からなる薄い菌そうを生じる。

2. 生態

病原菌は高温、多湿条件下では急速に蔓延し、症状の進行も速い。伝染は主に遊走子によって行われる。

3. 防除

1) 発病株は直ちに除去する。 2) 過繁茂を避け、過湿にならないように注意する。

4. 記事

本病は1991年7月、八丈島のフィロデンドロン・セロウム（ヒトデカズラ）に発生した。